



### ～ 敷根小学校の歩み ～

敷根小学校が開校したのは、廃藩置県が行われた翌年・西南戦争が起こる6年前の明治5年(1872)10月で場所は今の場所ではなく、現在JA敷根支所がある場所で、藩政時代に地頭仮屋が置かれていた場所に、その建物を利用して設置されました。当初は習字や読書を教えていたそうです。その後、明治12年に2階建ての校舎に改造をし、明治30年に増築が行われました。

現在の場所に丘陵地に盛り土・造成をし、明治43年(1910)3月になって上の写真のような校舎が落成し移転しました。校庭のあちこちに、そびえ立つ様に生えていた、せんだんの木は大正5年(1916)1月に植樹された物だそうです。

昭和11年には生徒数の増加により校庭が狭くなったため、二棟並んでいた校舎のうち校庭側の校舎を東側に90度移転し閉校前の配置になりました。校舎は昭和50年の敷根小学校の閉校後も数年間残っていましたが、老朽化に伴い撤去され、現在、敷根小学校跡は、敷根コミュニティー広場として敷根地区民の憩い・レクリエーションの場所として利用されています。

又毎年厄祓いを迎えた方が植樹する桜の木がグラウンドを取り巻き、春には桜の隠れた名所となっています。

### ～ 学校名について ～

上の写真では敷根小学校となっていますが明治43年当時敷根小学校とは呼ばず、明治33年に尋常小学校と高等小学校が分離され37年に再び併置されました。昭和16年に敷根国民学校と改称され、そして戦後の昭和22年5月の学制改革に伴い、敷根村立敷根小学校と改称され以後閉校まで、市町村の変化はあったものの敷根小学校として続けました。